

令和4年度 一関市社会福祉協議会 事業報告

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が、社協が進める福祉事業にも大きな影響を及ぼし、介護事業では感染対策を行う中でのサービス提供、地域福祉事業ではつながりを絶やさないための工夫、相談事業ではコロナ禍による生活相談への対応など、事業運営の工夫や新たな対応が求められた。

事務事業の推進は、基本理念『支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし』に基づき、福祉はみんなで支え合うという一人ひとりの「思いやり」と「助け合い」の結の心を育むことと同時に、コミュニティの構築と共生のまちづくりを進めるため、一体感の醸成に努めつつ、生活に役立つ福祉サービスの提供、住民が安心して暮らすことができる福祉事業の推進に努めた。

1. 重点事業の実施状況

(1) 一関市社会福祉協議会中期経営計画の推進

中期経営計画の進捗を管理するため、法人運営懇談会や評議員会において、計画の進捗を報告し、意見をいただく中で、部門毎の事業課題の解決に向けた取り組みを協議した。

組織の見直しについては、法人運営懇談会において、役員、評議員、支部運営委員の選出区分や定数を検討し、今後の進め方について協議を行った。

また、財源の確保などの経営課題については、財政状況を確認し、今後の経営について協議を行った。

(2) 第2次一関市地域福祉活動計画の実践

地域福祉コーディネーターは、個別相談への対応や生活課題の解決を図るための取り組みを行い、ふれあいサロンの場を活用した買い物支援の取り組みは、東山地域へ展開を広げた。また、支え合いマップを活用した話し合いにより、課題を抱える方が孤立しないよう、声掛けや訪問による支え合い活動に取り組んだ。

社会福祉法人の福祉専門職に福祉学習の講師を依頼し、児童生徒等の障がい者への理解や福祉職への関心を育む機会を設けるなど、社会福祉法人と協働した事業を展開した。

食料支援事業は、個人、企業、団体からの食料寄附を活用し、生活にお困りの方やひとり親家庭に配布するとともに新たに子ども食堂への配布にも取り組んだ。

(3) 相談支援の充実

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活上の困りごとを抱えた方に対し、生活福祉資金貸付事業との連携による生活困窮者自立支援事業の相談支援と住居確保給付金相談支援に加え、相談支援から食料支援や債務整理、弁護士相談等へつなぐことで、生活困窮者に対しての経済的自立と生活の安定を目指した相談支援を強化した。また、特例貸付は令和5年1月から償還手続きが開始されたことから、借受人に対して生活困窮者自立支援事業と連携したフォローアップ支援を行った。

権利擁護支援については、市で設置する成年後見センターの業務一部受託についての検討を行った。

(4) 介護保険事業、障がい者支援事業の推進

介護保険事業は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響などによる厳しい運営が続く中、安定的かつ持続可能な介護事業所の運営に向けて、ケアプランセンターの集約やデイサービスセンターの利用定員の増、ヘルパーセンター及び訪問入浴センターの新たな加算（介護報酬等）の取得に取り組んだ。また、新介護システムへの統一初年度として、花泉、大東、室根の8事業所のシステム移行を完了した。

障がい者支援事業は、就労継続支援事業所千厩ワークプラザにおいて利用者の就労の場や生産活動の機会を提供し、自立した日常生活と社会生活を営めるよう支援した。

なお、介護保険事業や障がい者支援事業における虐待防止については、虐待防止等委員会設置要綱を定め、同委員会を設置した。

(5) 職員の意識改革と人材育成

職員が個々の能力と求められている役割を最大限発揮するため、県社協や県事業団が行う階層別職員研修に職員を派遣し、職員の資質と対応能力の向上を進めた。

(6) 施設の維持管理

指定管理施設や行政財産使用許可等を受けて使用している施設に関しては、適切な維持管理に努めた。また一関市公共施設総合管理計画に基づく保有の見直し方針による今後の施設のあり方も協議しながら施設の拠点化・集約化に合わせた、修繕等の検討を行った。

3. 各課、各支部の事業報告

総務課

・中期経営計画の進捗の管理、組織の見直し、財源の確保などの経営課題に対応した。

事業名	内 容
理事会	法人運営のため、理事会を4回開催した。 第1回 令和4年 6月 7日 令和3年度事業報告、収支決算 他 8件 第2回 令和4年 9月 6日 補正予算、第2回評議員会の招集他 13件 第3回 令和4年 12月 13日 補正予算、第3回評議員会の招集他 8件 第4回 令和5年 3月 14日 補正予算、第4回評議員会の招集他 44件
法人運営懇談会	中期経営計画・財務状況等について、懇談会を4回開催した。 第1回 令和4年 4月 26日 中期経営計画 第2回 令和4年 10月 14日 中期経営計画の推進状況他 2件 第3回 令和4年 11月 18日 役員及び評議員等の選任区分・定数の見直し他 1件 第4回 令和5年 2月 14日 財政状況他 2件
評議員会	適正な法人運営を図るため、評議員会を4回開催した。 第1回 令和4年 6月 23日 令和3年度事業報告、収支決算他 3件 第2回 令和4年 9月 22日 補正予算 第3回 令和4年 12月 23日 定款の一部変更、補正予算 第4回 令和5年 3月 24日 補正予算他 2件
監事会	監事による出納調査、決算監査（事業報告、計算書類等）を実施した。 ・出納調査 令和4年 5月 17日、8月 26日、11月 29日、 令和5年 2月 28日 ・決算監査 令和4年 5月 17日
会長・副会長会議	法人運営を図るため、理事会案件等について、会長、副会長及び常務理事等による会議を8回、実施した。
支部運営委員会	支部の円滑な事業運営を図り、地域住民の意向を把握し地域福祉を推進するため、運営委員会を開催した。 ・一関支部 4年 6月 29日 令和3年度事業報告及び決算報告について 他 2件 4年 12月 7日 令和4年度上半期事業報告について 他 2件 5年 3月 13日 令和5年度事業計画について 他 1件 ・花泉支部 4年 7月 26日 中山間地域等に居住する方へのサービス提供加算について 他 7件 12月 9日 令和4年度敬老事業について 他 4件 5年 3月 23日 令和5年度事業計画及び予算について 他 5件 ・大東支部 4年 6月 24日 令和3年度事業・決算報告、一関市社会福祉協議会中期経営計画について（デイサービスセンター大東等複合施設整備について）他 6件 9月 12日 令和4年度大東地域敬老事業、デイサービスセンター大東等複合施設整備について 他 8件 12月 9日 ひとり暮らし高齢者外出支援事業「買い物ツアー」、デイサービスセンター大東等複合施設モデル事業（案）の概要について 他 7件 5年 3月 17日 令和4年度大東支部事業計画、デイサービスセンター大東施設整備事業について 他 4件 ・千厩支部 4年 7月 14日 令和4年度事業計画について 他 2件 12月 9日 千厩地域ふれあいサロン事業について 他 1件

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東山支部 <ul style="list-style-type: none"> 4年5月13日 令和3年度事業報告並びに決算報告について 他2件 9月20日 令和4介護保険事業収入状況について 他4件 12月8日 令和5年度事業計画について 他4件 5年2月24日 令和5年度小地域福祉推進事業について 他3件 ・ 室根支部 <ul style="list-style-type: none"> 4年6月27日 令和3年度室根支部事業報告と決算について 他3件 9月14日 令和4年度室根支部所管事業の実施状況について他1件 12月14日 令和5年度室根支部事業計画について 他2件 ・ 川崎支部 <ul style="list-style-type: none"> 4年6月10日 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について 他1件 12月16日 令和4年度川崎地域敬老事業の反省について 他2件 ・ 藤沢支部 <ul style="list-style-type: none"> 4年6月29日 令和4年度事業報告及び決算について 他5件 12月15日 介護保険事業について 他2件
職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県社協が行う階層別研修に参加した。 市町村社会福祉協議会新任研修 6名、中堅職員研修 1名 ・ 介護職員キャリアパス研修計画に基づき、研修に参加した。 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員編 2名、初任者編 3名
第17回一関市社会福祉大会	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典・講演は中止とし顕彰のみ実施した。表彰状及び感謝状は、社協各支部を通じて贈呈した。
一関市総合福祉センターの管理運営	<p>市民の福祉増進と福祉意識の啓発を図り、地域福祉活動を総合的に推進するための活動拠点として運営を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開設日数 350日 ・ 利用件数 507件 ・ 利用人員 5,234人 ※前年度 利用件数 406件、利用人員 4,830人

地域福祉課

・ 福祉課題や生活課題解決のため、地域住民と関係機関・団体等と連携した支援を行った。

事業名	内 容
地域福祉活動推進事業	<p>地域福祉コーディネーターを支部の地域福祉担当者と兼務するなどし、地域担当制で活動した。川崎地域において支え合いマップ作成の支援を行うなど、地域の福祉課題、生活課題の把握と、解決へ向けた取り組みについて相談対応を行い、地域住民や各関係機関等と協働して地域づくり支援を行った。</p> <p>活動延べ件数 1,861件（地域からの相談 316、支え合いマップ 17、モデル事業 54、サロン・居場所づくり 320、ボランティア・福祉教育等 124、まちづくり分野との連携 209、個別支援 296、研修 36、その他 489）</p>
小地域福祉推進事業	<p>地域の福祉課題を解決し、安心して豊かな生活を営むことができるようにするために、福祉活動推進協議会等に活動助成金を交付し、地域の自主的な福祉活動を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一関11地区 1,855,000円 ・ 花泉7地区 1,229,000円 ・ 大東6地区 1,278,000円 ・ 千厩4地区 917,000円 ・ 東山29地区 603,000円 ・ 室根20地区 537,000円 ・ 川崎1地区 364,000円 ・ 藤沢1地区 791,000円 <p>合計 79地区 7,574,000円</p>
社会福祉法人の連携強化	<p>社会福祉法人の福祉専門職を派遣してもらい、福祉教育等の事業連携を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の福祉学習（車いす介護方法の指導、福祉職についての講話）、中高生ボランティアスクール（障がいの理解についての指導）、在宅介護者の集い（介護方法の指導）、子どもの居場所づくり（食事会の開催）

外出支援サービス事業	<p>在宅の寝たきり高齢者等の移動困難者を対象に医療機関や福祉施設への通院、通所、入退所の外出支援を行った。</p> <p>稼働延べ時間 113 時間 30 分 延べ利用人数 59 人（室根支部 29 人、藤沢支部 30 人）。 ※前年度 稼働延べ時間 241 時間 45 分、延べ利用人数 109 人</p>
シニア活動プラザの運営	<p>社会参加を求めるシニア世代に対し、講座等の実施により、活動のきっかけづくり、仲間づくりを進めた。活動交流発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、作品展示と活動動画の上映のみとし、17 団体が参加、延べ 209 人が来場した。</p> <p>・運営協力委員会 3 回開催 ・相談事業 818 件 ・情報発信 79 回 ・講演会及びセミナー 延べ参加者 877 人</p>
幸せ感じる地域の暮らし事業	<p>一関地域、千厩地域、東山地域のモデル地区に対して地域協働体や民生委員児童委員協議会定例会等での事業説明や打ち合わせを重ね、ふれあいサロン等と移動販売業者のマッチングと継続支援を行った。</p>
社協だよりの発行	<p>地域福祉活動を啓発・促進させるため全戸に社協だよりを年 4 回発行した。第 64 号（5 月）、第 65 号（7 月）、第 66 号（10 月）、第 67 号（1 月）</p>
ホームページ等による啓発	<p>社協事業や地域福祉活動に関する情報を入手できるよう、ホームページの内容の充実を図り、地域福祉活動に関する情報を発信した。</p> <p>閲覧件数 17,484 件 ※前年度 閲覧件数 18,136 件</p>
ふれあいサロン事業	<p>高齢者等の生きがい作りや、寝たきり、閉じこもり予防を目的に、定期的に開催するサロンに対し、活動助成金を交付した。また、ふれあいサロン相互の情報交換や活動内容の充実を図るための研修会や交流会を地域毎に開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を一部中止したサロンがあった。</p> <p>サロン数 311 か所（一関 111、花泉 49、大東 36、千厩 46、東山 15、室根 16、川崎 16、藤沢 22） ※前年度 347 か所</p>
ひとり暮らし高齢者の集い事業	<p>65 歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に孤独感の解消、健康と生きがいの高揚、介護予防等を目的に地域毎に開催した。</p> <p>延べ参加者 769 人（花泉 60、大東 57、千厩 549、東山 64、室根 3、川崎 15、藤沢 21） ※前年度 延べ参加者 411 人</p>
在宅介護者の集い事業	<p>家庭で寝たきり高齢者等の介護にあたっている方を対象に、10 月と 2 月に介護者同士の交流の場を設け、精神的な疲労や介護技術の向上を目的に集いを開催した。</p> <p>延べ参加者 67 人（一関 27、花泉 9、大東 4、千厩 9、東山 4、室根 3、川崎 0、藤沢 11） ※前年度 延べ参加者 34 人</p>
車いす貸出し事業	<p>高齢者や障がい者等の生活を援助するため、外出時等に使用する車いすを貸し出した。</p> <p>延べ貸出回数 137 台（一関 37、花泉 25、大東 7、千厩 21、東山 21、室根 4、川崎 5、藤沢 17） ※前年度 延べ貸出回数 115 台</p>
手話通訳者等派遣事業	<p>聴覚障害者等が意思疎通に支障のある時、要請に応じ、手話通訳者等の派遣を行い、障がい者の社会参加促進および交流活動の充実を図った。</p> <p>派遣延べ人数 142 人、延べ派遣時間 228 時間 ※前年度 派遣延べ人数 153 人、延べ派遣時間 202 時間</p>
子育て支援事業	<p>一関市ファミリーサポートセンターの事業周知をより一層図り、育児の支援を行う協力会員と、育児の支援を受ける依頼会員、双方を兼ねる両方会員を組織化し、育児に関する相互支援活動を行った。また、子育て支援の相談・情報提供等を行った。</p> <p>会員数 631 人（依頼 476 人、協力 133 人、両方 22 人） 利用件数 421 件（主な利用：保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助、保護者等の病気時の援助、幼稚園・保育園、学校等休み時の援助など） ※前年度 会員数 638 人、利用件数 262 件</p>

子育てサロン事業	孤立しがちな子育て家庭の育児不安の解消に資するとともに、未就学の子どもをもつ当事者同士がふれあい、仲間づくりを行う活動に対し助成を行い、地域における子育て世代の居場所づくりを行った。 5サロン（一関2、千厩1、東山1、川崎1） ※前年度 5サロン
ボランティアセンター事業	コロナ禍のボランティア活動相談にも対応できるよう、ボランティアニーズと活動のコーディネートを行った。また、学校との連携を深め、福祉が身近なことだと感じてもらえるよう、小学校7校、中学校4校、高校1校へ福祉教育プログラムの企画や講師の調整等を行った。 ・ボランティアセンター運営委員会 2回開催 ・ボランティア保険の加入（活動保険1,380人、行事用保険202件） ・ボランティア協力校の指定 18校（小学9、中学5、高校4） ・ボランティア講座等の開催（①中高生ボランティアスクール 延参加者13人、②高校生保育ボランティア体験 延べ参加者9人、③災害ボランティアセンター設置運営研修は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）
敬老会開催事業	敬老会の見直しについては、主催や進め方等、様々な意見が寄せられ、懇談を重ねてきた。その中で、令和4年度は市、社協、地区実施団体の三者が主催となり、多年にわたり社会に尽くしてきた高齢者を敬愛し、コロナ禍で実施できる敬老事業として、記念品の贈呈、友愛訪問等を行い、長寿をお祝いした。 対象者：80歳以上の高齢者16,560人
緊急連絡カードの整備事業	民生委員の協力により、ひとり暮らし高齢者等の緊急連絡カードを作成し、緊急時の見守り活動を行った。 3,015世帯（一関1,001、花泉344、大東594、千厩323、東山207、室根116、川崎137、藤沢293）
福祉団体等への助成事業	ボランティア団体等、福祉団体の活動を円滑に推進するため、各団体へ活動助成する。 29団体 3,419,300円（本部5、一関9、花泉9、大東2、千厩1、東山1、室根1、川崎0、藤沢1）
食料支援事業	一関市総合福祉センター及び千厩農村勤労福祉センターにフードポストを設置し、麺類やレトルト食品などの保存が利く賞味期限内の食品を市民の皆様や企業、団体から寄附いただいた。寄附いただいた食品は、生活にお困りの方やひとり親家庭への食料配付を行った。 寄附いただいた食品：9,126点 配布先：生活困窮世帯（延べ40世帯）、ひとり親世帯（7月、12月、3月 延べ243世帯）

生活支援課

・多様かつ複合的な福祉課題・生活課題の解決のため、総合相談に対応した。

事業名	内容
生活福祉資金貸付事業	他の貸付制度が利用できない、収入の少ない世帯や障害者及び高齢者が属する世帯に対し、生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、生活資金の貸付を行った。コロナ特例貸付（令和4年9月で終了）として新型コロナウイルス感染症による失業や収入減少で緊急かつ一時的な生活維持のための資金が必要な世帯や、生活に困窮し日常生活の維持が困難となっている世帯に対し、緊急小口資金及び総合支援資金の特例貸付を行った。 ・コロナ特例 47件 10,260,000円（緊急小口資金38件、総合支援資金9件） ※前年度 258件 73,340,000円 ・福祉資金 8件 3,288,000円（福祉費7件、緊急小口資金1件） ※前年度 16件 3,131,000円 ・教育支援資金 8件 4,598,000円（教育支援費7件、就学支度費1件） ※前年度 18件 8,064,500円

たすけあい金庫貸付事業	失業や疾病等による一時的収入減等により、生活維持が困難になった世帯に対し、応急的な資金として無利子で貸し付けを行う事業（限度額 50,000 円） 貸付実績なし
日常生活自立支援事業	福祉サービスを自ら選択することや福祉サービス提供事業者と契約することの判断能力が不十分な方に対し、利用手続きの援助や代行、公共料金の支払いなど、本人の日常生活の自立を支援した。また、判断能力の低下がみられる方については、関係機関と連携し、成年後見制度の申し立ての検討や申し立て手続きの支援を行った。解約 4 件（内訳：成年後見制度への移行 1 件、県外への引っ越し 2 件、死亡 1 件） ・専門員 2 人、生活支援員 23 人（一関 21 人、平泉 2 人） ・生活支援員活動件数 703 件 ※前年度 693 件 ・契約者数 53 人 ・相談件数 延べ 1,981 件 ・新規受付人数 71 件 ※前年度 契約者数 45 人、相談件数 2,321 件、新規受付人数 41 件
生活困窮者自立支援事業	生活困窮者に対しての経済的自立と生活の安定を目指し、関係機関と連携した自立や就労等の相談支援、家計改善に向けた相談支援を行った。また、新型コロナウイルスの影響が継続する中、関係する生活福祉資金貸付ケース、及び市が行う給付金の一部事務へ協力も行った。 ・相談件数 211 件（うち、住居確保給付金 13 件） ・支援件数 3,028 件（うち、住居確保給付金 93 件） ※前年度 相談件数 291 件、支援件数 3,630 件
緊急一時支援事業	ホームレスや DV 等の社会的孤立などにより支援が必要な方へ、家財の貸し出しや宿泊施設の提供などの緊急一時支援を行い、自立の援助を行った。 ・一時宿泊支援 0 件 ・家電製品等の貸出 1 件 ・食糧等支援 4 件 ※前年度 一時宿泊支援 4 件 家電製品等の貸出 3 件 食糧等支援 3 件
成年後見制度利用促進事業	一関障害者支援プラザ・日常生活自立支援事業にて、支援関係者向けにそれぞれ権利擁護・成年後見制度に関わる研修会を 1 回ずつ、合計 2 回開催し周知啓発を図った。また、令和 5 年度からの成年後見支援センター業務の一部を社協が受託することについて協議を行った。
障害者生活支援事業	障がい者（児）が地域で安心して社会生活を営めるように、障がい当事者として同じ経験を持つピアカウンセラーと共に相談者に必要な支援などの情報提供や助言を行う。また、必要な福祉サービス利用のための計画相談支援を行った。 ・基本相談件数 2,677 件 ・計画相談件数 1,412 件 ※前年度基本相談件数 2,583 件、計画相談件数 1,325 件 基幹相談支援センター事業では障がいのある方やご家族、または関係機関からの総合窓口として、地域の障がい福祉に関する相談支援の中核的な役割を担った。 ・基幹相談支援センター 2,396 件 ※前年度 2,537 件
心配ごと相談所事業	日常生活の悩みごと相談、援助に努めた。一関支部は、毎週木曜日に開設し、その他の花泉、大東、千厩、藤沢支部では、毎月第 2 金曜日に移動相談所を開設した。 ・開設日数 54 日、延べ人数 50 人、延べ件数 158 件 家族関係の相談や貧困、近隣トラブルに関する相談があり、無料法律相談や、生活困窮事業、生活福祉資金貸付事業など、専門相談に繋いだ。 ※前年度 開設日数 57 日、延べ人数 40 人、延べ件数 160 件
生活支援特設相談窓口開設事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、生活に不安を抱えている世帯を対象とし、不安の解消を目的に総合相談窓口を一関市総合福祉センター、千厩農村勤労福祉センターで開設し、延べ件数 22 件の相談に対応した。 開催日：令和 4 年 7 月 23 日、12 月 24 日、令和 5 年 3 月 19 日 協力機関：一関市（福祉課生活福祉係、子育て支援課児童家庭係）

介護事業課

- ・高齢者や障がい者が住み慣れた地域で暮らせるよう、相談支援や介護・障がい福祉サービスを行った。

事業名	内容
地域包括支援センター事業	<p>高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域における総合的なマネジメント機能を担うため、地域包括支援相談（総合相談支援、権利擁護、虐待の早期発見・防止、包括的・継続的ケアマネジメント支援）、介護予防ケアマネジメント、高齢者虐待防止等の研修会を行った。</p> <p>*介護予防プラン ・花泉 1,507（内委託数 643） ・大東・東山 3,400（内委託数 1,306） 合計 4,907 件（内委託数 1,949）</p> <p>※前年度 花泉 1,619（内委託数 787）・大東・東山 3,274（内委託数 1,208） 合計 4,893 件（内委託数 1,995）</p> <p>*地域包括支援相談 ・花泉 659 ・大東・東山 1,074 合計 1,733 件 ※前年度 花泉 745、大東・東山 1,060、合計 1,805 件</p>
ヘルパーセンター	<p>要介護及び要支援と認定された高齢者等に対し、訪問介護員が家庭を訪問して、日常生活の家事援助や身体介護を提供した。</p> <p>*訪問介護 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数） ・花泉 10,132（28件） ・大東 3,973（11件） ・東山 5,147（14件） ・室根 3,167（9件） ・藤沢 10,416（28件） 合計 32,835 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 ・花泉 10,577（29件） ・大東 4,331（12件） ・東山 5,370（15件） ・室根 2,707（7件） ・藤沢 12,355（33件） 合計 35,340 回</p> <p>*訪問型サービス（総合事業） 年間延訪問回数（1日当たり訪問件数） ・花泉 1,673（5件） ・大東 1,852（5件） ・東山 1,094（3件） ・室根 610（2件） ・藤沢 2,327（6件） 合計 7,556 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 ・花泉 2,042（6件） ・大東 2,439（7件） ・東山 1,018（3件） ・室根 660（2件） ・藤沢 1,951（5件） 合計 8,110 回</p>
介護支援事業所	<p>障がい者の方に対し、訪問介護員が家庭を訪問し、日常生活の家事援助や身体介護サービスを提供した。</p> <p>年間延訪問回数 ・花泉 2,846 ・大東 912 ・東山 990 ・室根 261 ・藤沢 1,446 合計 6,455 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 花泉 2,861、大東 916、東山 1,244、室根 250、藤沢 792、合計 6,063 回</p>
訪問入浴センター	<p>在宅で入浴が困難な方、デイサービス等の利用が難しく、家庭の風呂を使っている入浴が困難な方のための訪問入浴介護サービスを提供した。</p> <p>*訪問入浴 年間延訪問回数（1日当たりの訪問件数） ・東山 614（3件） ・藤沢 489（2件） 合計 1,103 回</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 ・東山 713 ・藤沢 725 合計 1,438 回</p>
	<p>障がい者の方に対し、自立した日常生活又は社会生活を営むため訪問入浴サービスを提供した。（一関市からの補助事業）</p> <p>*障がい者地域生活支援事業 障がい者入浴 年間延訪問回数 合計 129 回（東山のみ）</p> <p>※前年度 年間延訪問回数 166 回（東山のみ）</p>

<p>デイサービスセンター</p>	<p>日帰りの施設介護サービスで、自宅からの送迎・入浴・昼食・余暇活動等のサービスを行い、一日を楽しく過ごせる通所サービスを行った。なお、デイサービスセンター大東、デイサービスセンター東山については、利用定員数を増やし、利用者の受入れ態勢を整備した。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響により、デイサービスセンター3事業所において2日から7日の休業を行った。</p> <p>(大東7日：9/8.9.10、11/21.22.23.24、興田2日：11/25.26、東山5日：8/12.13.15.16.17)</p> <p>利用定員数 大東34名、興田30名、東山29名、室根18名</p> <p>*通所介護 年間延利用回数(1日当たりの利用件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東7,097(23件) ・興田6,479(21件) ・東山5,960(19件) ・室根2,686(10件) 合計 22,222回 <p>※前年度 年間延利用回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東7,529(24件) ・興田6,398(20件) ・東山5,911(19件) ・室根2,752(9件) 合計 22,590回 <p>*通所型サービス(総合事業)年間延利用回数(1日当たりの利用件数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東1,051(3件) ・興田1,126(3件) ・東山1,324(4件) ・室根767(2件) 合計 4,268回 <p>※前年度 年間延利用回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大東1,155(4件) ・興田969(3件) ・東山1,300(4件) ・室根1,113(4件) 合計 4,537回 <p>*生活介護事業(身体障がい者等に対する生活介護事業)</p> <p>年間延利用回数 合計 119回(東山のみ)</p> <p>※前年度 令和4年2月から利用開始 合計 16回(東山のみ)</p>
<p>ケアプランセンター</p>	<p>依頼を受けてケアマネジャーが利用者宅を訪問し、ケアプランの作成や介護に関する相談、医療機関や各サービス事業所との連絡調整等を行った。またケアプランセンター室根は、令和4年9月末で休止(令和4年度末廃止)し、その事業区域をケアプランセンター大東に引き継ぎ集約化を図った。</p> <p>年間延利用者件数(月実利用者数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花泉1,499(125人) ・大東1,989(166人) ・興田1,329(110人) ・東山1,152(96人) ・室根394(66人) R4.4月から9月 合計 6,363件 <p>※前年度 年間延利用件数 花泉1,618件、大東1,584件、興田1,398件、東山1,129件、室根804件、合計6,533件</p>
<p>在宅介護支援センター</p>	<p>介護予防・生活支援等の総合相談、高齢者の実態把握、介護保険対象外の方への支援を行った。(一関市からの委託事業)</p> <p>年間延相談件数(月実利用者数) 東山15件(1.25人)</p> <p>※前年度 年間延相談件数 東山39件</p>
<p>千厩ワークプラザ(就労継続支援B型)の運営</p>	<p>通常の事業所に雇用されることが困難な障がい者が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう就労の場を提供すると共に、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力向上のために必要な訓練等を行った。</p> <p>*主な就労内容 施設清掃業務、アウトドア用薪加工、農福連携事業、クロネコDM便、ふのりゴミ取り作業、機械用ウエス加工等</p> <p>*年間延利用者数 合計3,593人</p> <p>※前年度 年間延利用者数3,570人</p>

新介護システムへの統一	介護事業の一体的管理体制と効率的・効果的な事業運営を図るため、事業所により異なる複数の介護ソフトウェアの統一を行い、新介護システムへの移行を令和4年度から令和5年度の2ヵ年計画で行うこととした。 なお、令和4年度は、介護ソフトウェアのリース期間満了に合わせて花泉、大東、室根の8事業所において新介護システムに移行した。
介護職員初任者研修	一関市内で介護の仕事に就こうとしている者を支援し、介護の担い手を育成することを目的に研修会を開催した。コロナ禍での研修会の開催となり一部通学制から通信制を導入し全過程の修了となった。 130時間 23日間 修了生 15名 ※前年度 修了生 20名
苦情等の処理	福祉事業・福祉サービス等各種の事業内容についての評価やサービスに関する苦情等を伺い、公正を図るため、関係者以外から第三者委員を委嘱し適正な運営に努めた。
虐待防止等委員会の設置	介護保険事業及び障がい者支援事業において、利用者の人権の擁護、虐待防止、身体拘束適正化等の観点から虐待の発生・再発防止、身体拘束の適正化及びその適切な対応に努めるため、虐待防止等委員会設置要綱を定め、委員会を設置した。事業所において虐待防止等責任者及び担当者を配置した。

一関支部

事業名	内容
食事サービス事業	65歳以上のひとり暮らしの方、高齢者世帯や障がい者世帯を対象に、月曜日から金曜日までの夕食を届ける食事サービスを実施した。配達には業者の協力を得て利用者の安否確認や健康状態等の確認を行った。 料金は1食（主食・副食）400円、副食（おかず）は350円。 ・食事サービスの利用者と食数 延べ利用者数 710人、食数 11,240食、配食日数 243日 ※前年度 延べ利用者数 646人、食数 10,778食、配食日数 242日
理髪サービス事業	家庭での寝たきり者を対象に、理髪を行い、心身を爽快にするとともに、家族介護の軽減を図るため、理容組合一関支部の協力を得て訪問理容可能店舗を確認し、理髪サービスを実施した。利用申請者にサービス利用券（1枚 3,000円）を交付し、理髪店は申請者が選択。利用券は、4～7月申請は3枚、8～11月申請は2枚、12～3月申請は1枚交付した。 ・理髪サービス利用券交付状況 申請者 60人、利用枚数 102枚、交付枚数 166枚、利用率 61.4% ※前年度 申請者 59人、利用枚数 84枚、交付枚数 160枚、利用率 52.5%
水難物故者追悼法要	昭和22年のカスリン台風、23年のアイオン台風の襲来により大きな被害を受けた災害を契機に災害のないまちを祈念し、追悼法要を実施した。
支部だより発行	一関地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。

花泉支部

事業名	内容
さわやか大学	高齢者が要介護とならないよう、運動器の機能向上や認知症等介護予防の観点から、孤独感の解消及び、教養講座、日常動作訓練を行い、高齢者の自立を支援した。 会場：老松介護予防センター 延利用 209団体 2,061人 ※前年度 210団体 1,912人

福祉啓発事業	<p>①花泉地域保健福祉まつりの開催 地域住民の健康づくりや福祉に関する知識の普及と意識の向上を図ることを目的に一関市との共催で開催した。 内容：福祉作文表彰式・発表会、医師講演会、他 開催日：令和5年2月21日 場所：花泉総合福祉センター 来場者：103人</p> <p>②花泉地域保健福祉活動紹介展の開催（花泉地域保健福祉まつりの一環） 地域団体やサロン等の活動紹介や作品展示をする花泉地域保健福祉活動紹介展を開催した。（ふれあいサロンや老松介護予防センター利用者による作品展示では30団体318人が作った572点の作品を展示） 開催日：令和5年2月17日～23日 場所：花泉総合福祉センター 参加者：延べ233人</p> <p>③福祉作文募集、文集の発行（拡充） 児童生徒等に家庭や学校、地域での体験を通して感じたことを作文にすることで、福祉の心を育てる目的として実施した。全応募作品を作文集としてまとめ、関係機関、応募者等に配布した。また最優秀作品を掲載した花泉支部社協情報誌特集号を全戸配布した。 応募総数146点 福祉作文集206部発行</p> <p>④福祉作文表彰並びに最優秀作品朗読発表（花泉地域保健福祉まつり席上） 応募のあった福祉作文を審査し、優秀作品の表彰及び最優秀作品の朗読発表を行った。また最優秀賞作品の朗読発表の様子を録音して2月27日から3月2日にかけて、コミュニティFMあすもで放送した。 表彰：最優秀賞8名 優秀賞13名 朗読発表：最優秀賞8名</p> <p>⑤昔話・紙芝居の読み聞かせの開催 地域での子育てを応援するために開催し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアグループの訪問による昔話と紙芝居の読み聞かせを花泉地域の保育施設5施設で行い、子育て支援と交流を図った。 保育施設で9回開催 参加者延べ254人 ※前年度225人</p> <p>⑥キャップハンディ体験指導 地域の小中学校のキャップハンディ体験を通し、福祉の理解と相手を思いやる気持ちを高め、福祉の心を育てた。（小学校1校、高校1校、児童生徒29人参加）</p>
支部だより発行事業	地域福祉啓発のため、福祉活動や社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせする広報を全世帯へ配布した。（6月・9月・12月・3月）
ボランティア講座	<p>地域でのボランティア活動の理解と関心を深め、意識の醸成と啓発を図るために、ボランティア講座（庭木の剪定講座）を開催した。</p> <p>第1回 8月1日 会場：蝦島コミュニティセンター 参加者：10名 第2回 10月25日 会場：永井市民センター 参加者：12名</p>
花泉総合福祉センターの指定管理	<p>地域の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として、貸館を行うと共に管理を行った。</p> <p>年間利用者10,218人 ※前年度10,691人</p>

大東支部

事業名	内容
ボランティア機器貸出事業	<p>学校行事や自治会活動等の地域事業の中で、機器等を使用し地域交流の機会とする。また、障害擬似体験用具を活用し障がい者理解や福祉教育の一助とした。</p> <p>貸出：ポッチャ11件 その他9件</p>

支部だより発行事業	大東地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。(5月・8月・11月・2月)
食の自立支援事業(委託事業)	在宅の調理が困難な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の配達と安否確認を行い、高齢者の健康と福祉の増進を図った。 年間配食数 1,067食 月曜日～金曜日 昼食 ※前年度 1,028食
高齢者外出支援事業	町内の65歳以上のひとり暮らし高齢者の外出する機会と目で見えて楽しむ買い物をつくることを目的とし買い物ツアーを実施した。 期日:11月8日・9日 場所:千厩ショッピングモールエスパ 参加者:36人 協力者:13人(民生委員児童委員)
福祉学習助成事業	未来の社会を担う子どもたちの福祉教育やボランティア教育の実践活動として地域社会との連携意識の高揚や福祉に関心や理解を深めることを目的として実践活動の助成を行った。 ①ボランティア学習・福祉教育の推進 ・中学校1校 20,000円 ②ふれあいひまわりサービス(友愛ハガキ)の推進 ・利用登録者数 79人 ③福祉学習・キャップハンディ体験への支援 ・小学校2校児童 49人参加 ・中学校1校生徒 14人参加 ・高校1校生徒 48人参加
大東福祉まつりの開催	「支え合い 幸せ感じる 地域の暮らし」の基本理念のもと、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目指し、世代や障がいを超えた、子どもからお年寄りまで多くの住民が集い、住民相互の交流を目的として、「ゆいっこ広場川柳」の入賞者の表彰、入賞作品発表とふれあいサロン活動紹介の内容で開催した。 期日:11月20日 場所:大東コミュニティセンター室蓬ホール 参加者:85名 ゆいっこ広場川柳 応募者数:103人 応募作品総数:146点 入賞者・作品の紹介:大東図書館及び大東保健センターでの掲示 サロン活動紹介 5サロンの活動取材し、紹介DVDを上映
大東地域版中高生ボランティアスクール	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

千厩支部

事業名	内容
理髪サービス事業	理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない者に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成した。利用券(1枚1,000円)は年間7枚を上限に希望者に交付した。 対象者 13人 ※前年度 32人
高齢者等応援事業	①生活サポート事業(年間0回) ひとり暮らし高齢者・ひとり暮らし障がい者世帯を対象に雪かきなどの支援を行った。令和4年度は暖冬により、実績なし。 ②イキイキ教室(対象者1人) 在宅の知的障がい者を対象に、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、職員が対象者の自宅を訪問し見守りと記念品配布を行った。 ③声の広報配布事業(利用者1人) 在宅の視覚障がい者等を対象に、ボランティアの協力により収録した市広報等をダビングし視覚に障がいがある方に配布した。

高齢者等応援事業	<p>④千厩こどもキッチン（年間2回） 食を通じた豊かな人間性の形成と、子どもが安心できる地域の居場所づくりを目的に磐清水市民センターと共同で開催した。</p> <p>⑤交流サロン型サービス事業（年間1回） 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる生活支援サービスの展開を目指し、理容・美容・中華料理・クリーニングの各組合員を講師に自宅でできるマッサージや料理などの研修会を岩手県生活衛生営業指導センターと共催で開催した。</p> <p>⑥介護予防活動お出かけ応援事業（年間3回） 高齢者の介護予防活動の一環として、買い物機会の提供と介護予防「ひまわりカフェ」に参加し楽しむことで、フレイル予防の一助として、地元ショッピングモールを会場に開催した。</p>
せんまや健康福祉まつり	<p>障がい者・高齢者等の自立と社会参加の促進、市民の参画による支援者の拡大、もって健康長寿のまちづくりに資するものとして、行政、関係団体との協働で開催していたせんまや健康福祉まつりが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったため、地域団体やふれあいサロン等の活動紹介や作品展示等による「せんまや健康福祉活動紹介」を開催した。</p> <p>内容：地域団体の活動紹介、ふれあいサロン作品展 他 参加者 286人（前年度 283人）</p>
支部だより発行事業	千厩地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（7月、3月）
千厩農村勤労福祉センターの指定管理	<p>勤労者の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。</p> <p>年間利用者 5,669人 ※前年度 3,964人</p>

東山支部

事業名	内容（目的・対象・見込数・場所等）
地域づくり支援事業	<p>地域住民が安心して豊かな暮らしを営むことができる地域社会をつくるために、「地域づくり講演会」を開催し、自主的な活力ある地域づくりを支援した。</p> <p>参加者 31人 ※前年度 26人</p>
支部だより発行事業	東山地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（12月、2月）

室根支部

事業名	内容
見守り活動支援事業（尿取パッド支援）	<p>在宅介護者の労力軽減を図るとともに、民生委員の協力を得て尿取パッドを配布する際、寝たきり者等の状況把握と安否確認を行った。</p> <p>対象者 延 382人（毎月1回実施）</p>
声の広報配布事業	広報いちのせきをボランティアが朗読、録音したカセットテープを、視覚障がいの方に配布した。毎月1回録音 利用者3人
支部だより発行事業	室根地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。（6月、10月、3月）
理髪サービス事業	理容店の協力を得て、寝たきりの高齢者や障がいにより理髪店に行けない者に対し、自宅で訪問理髪を利用する際の利用料の一部を助成する。利用券（1枚2,500円）は年間3枚を上限に交付した。
室根地域ふくしの集い	地域づくり、地域福祉に関する情報提供と研修の場をつくり、住み良い福祉のまちづくりを図った。

むろね社協ふくしまつり	新型コロナウイルス感染予防のため、規模を縮小しふくしまつり標語・川柳コンクールおよび作品展を開催した。 会場：室根きらめきパーク 参加者：600人 ※前年度 443人
夏休み・福祉体験	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

川崎支部

事業名	内容
障がい者交流事業	障がい者の家族、支援者を対象に、障がいについての理解を深めるための交流会を開催し、障がい者が地域で安心して社会生活ができるよう理解を深めた。 参加者 66人
支部だより発行事業	川崎地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等をお知らせし、地域福祉啓発のため全世帯へ配布した。
ふれあいサロン活動展	ふれあいサロン活動展を開催し、地域住民へ活動の取組みの様子をパネルで紹介した。 出展数 11 サロン 来場者 132名
川崎農村環境改善センターの指定管理	住民の福祉の増進に資するため、住民、団体等の活動の場として貸館・管理を行った。 年間利用者 3,530人 ※前年度 2,815人

藤沢支部

事業名	内容
ライフヘルプサービス事業(拡充)	藤沢地域における高齢者世帯や、ひとり暮らしの高齢者及び障がい者等の日常的な困りごと（介護保険のメニューにない、介護度がついていない等）に対する支援をボランティアの協力を得て行い、住民参加による共に支え合う地域福祉の推進を図った。 会員登録者数：利用会員 20人、協力会員 22名 年間利用実績：16件 ※前年度 1件
金婚を祝う会	結婚 50 周年を迎えたご夫妻を地域で祝福し、今後とも健康で活躍されることを願い毎年開催しているもので、4 年度で第 26 回を数えた。福祉委員や民生児童委員の参加も得て舞台芸術鑑賞などを楽しみ、金婚を迎えた喜びを分かち合った。 会場：縄文ホール 参加数：当祝者 22 組、参加総数 83 人 ※前年度 参加者数 19 組、74 人
福祉交流まつり	藤沢町産業福祉文化祭の福祉部門として、各祭と連携しながら開催した（展示、福祉販売、赤い羽根共同募金の各コーナー）。日頃より地域福祉に関心を寄せてくださる個人や各種団体と共に互いの連携を確認し合い、喜びを創り、地域福祉への理解と交流を深めた。 会場：藤沢文化センター 参加者：250人 ※前年度 300人
支部だより発行事業	藤沢地域内における福祉活動や、社会福祉協議会の取組み、事業等の情報を支部だよりとして全世帯と関係機関、関係団体へ配布し、地域福祉の啓発を図った。（6月、3月）